

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37666	
事業名	観光客受入環境整備費						
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE					
	課長名	瀬川 裕佳子	担当者名	高橋 正輝	電話番号	211-2376	
施策名	主	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	滞在中に受けたおもてなしに対する満足度 2018:82%⇒2022:90%				
		長期	①都心部の観光バスの危険・迷惑な駐停車の削減 ②既存サインの維持管理 ③公衆無線LAN環境充実による観光客の利便性向上				
	取組内容	事業目的: 来札観光客のニーズに対応した環境整備により、札幌観光の満足度を向上させる。 事業内容: ①観光バス乗降場及び駐待機場の整備・利用促進 ②既存の観光案内サインの維持管理 ③Sapporo City Wi-Fiの運用・整備 ④市内観光関連事業者に対する受入環境状況調査(単年度)					
	実施結果	①観光バス駐待機場の運営を行ったほか、ノルベサ前観光バス乗降場の看板維持管理及び事業周知を行った。巡回整理業務などは新型コロナウイルスの影響により実施せず。②都心部の既存サインの更新・修繕を行った。③通常のWi-Fi運用のほか、東京オリパラ開催に伴い、マラソン・競歩のスタート位置周辺に臨時アクセスポイントの設置を予定していたが、観戦自粛を呼びかけていたことからWi-Fi増強は不要であると判断し、実施せず ④観光事業者等の意識や外国人観光客のニーズを把握する調査や、宿泊施設のバリアフリー化の状況やバリアフリー化に向けた課題等を整理するための調査を実施した。					
事業実施における工夫点	今後受入環境整備を進めるに当たっての取組の方向性を整理するための調査を新たに実施した。						
対象者	市民、観光客、バス事業者、観光関連事業者、宿泊施設			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	①他都市でもバス駐車場が設置されている。②他都市でも同様の案内板を設置し、維持管理を行っている。③多数の都市で、民間への補助を含めた公衆無線LAN環境充実のための取組を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費		51,065	35,000	24,653	63,000
うち特定財源		0	14,893	0	0
人工		0.6	0.5	0.5	0.9
人件費		4,320	3,600	3,600	6,480
計(事業費+人件費)		55,385	38,600	28,253	69,480
事業費の内訳	令和3年度決算	①観光バス乗降場・待機場の利用促進及び整備など:99千円 ②サイン更新等:1,337千円 ③Sapporo City Wi-Fi運用・整備:15,048千円 ④外国人観光客受入環境整備状況調査業務:7,480千円 札幌市宿泊施設バリアフリー状況基礎調査:689千円			
	令和4年度予算	①観光バス乗降場・待機場の利用促進及び整備など:15,179千円 ②サイン更新等:3,521千円 ③Sapporo City Wi-Fi運用・整備:15,300千円 ※観光施設魅力アップ補助:29,000千円(新規事業)			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	観光バス待機場利用台数(H30年度以降大通東2丁目も含む)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	2488	-	2529	14000	
活動指標2	指標名	Wi-Fi整備施設数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	7	-	-	-	
成果指標1	指標名	観光地としての総合満足度(「満足」と回答した人の割合)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	32.40%	40%	41.40%	40%	
成果指標2	指標名	札幌観光の満足度(滞在中にうけたおもてなし)満足+まあ満足			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	81.90%	90%	91.80%	90%	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	観光バス駐車場・待機場の利用台数は新型コロナウイルス感染症による観光バス需要減の影響を受けた。 観光バス都心部巡回整理業務、観光バス実態調査業務及びWi-Fi整備は新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。 サイン更新やWi-Fi運用は予定通り実施。 新たに調査業務を実施。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	観光バス対策は、新型コロナウイルス感染症による観光バス需要減にあわせ、駐待機場の一時閉鎖や巡回整理業務の取りやめなどの事業縮小を行った。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	観光バス駐待機場運営にあたっては、民間事業者に土地を貸し付けることで市費負担なく整備・運営を実施している。 その他業務は業務委託により効率的に実施した。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	観光客満足度は目標値を達成			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	観光客ニーズを適切に把握し、公衆無線LANをはじめとした通信環境整備策や観光案内サインの最適配置、観光客へのタイムリーな情報発信等について検討する。				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	観光事業者等の意識や外国人観光客のニーズの把握のための調査及び宿泊施設のバリアフリー化の状況等の調査を新たに実施した。 また観光施設の受入環境整備を支援する補助を新たに実施した。	見直し効果額 (前年度)	0	千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新たに実施した調査により、今後受入環境整備を進めるに当たっての取組の方向性を明らかにしたため。 観光施設の受入環境整備を支援する補助を新たに実施したため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 観光客や事業者のニーズに応じ、具体的な受入環境整備の手法について検討を進める。			
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 縮小 ○ その他	新型コロナウイルス感染拡大による観光バス需要減のため、観光バス都心部巡回整理業務は実施せず。	見直し効果額	8,000 千円